南

広

所

集

全ない人選んで

ム話しあい学習と公明選 全広報しおり

発

大里郡江南村役場

江南村選挙管理委員会

B

佘丽逸拳・端龍断

挙

全活を変える選挙

項

▲明るく正しい政治を

△ニセ札の見分け方 全版とよみ △相続税と贈与税

選挙人名簿の確認を

曇りない一票・明け行く江南

ょ ほくんちとうさんいいきした えらんで明るい明日がくる かあさんそうよと との一票でよい人を しり 選 ん

7

三 ` ح 夕べ明るい窓々に 朝元気に胸張って 公 この一票に 夢かけて との一票に夢かけて しあわせの村つくろうよ しあわせの村つくろうよ の しい笑いの声がする きるよろとび謳うよな 明 票 選 42 举 夢 カ> **の** け 歌

公明選挙強調週間

との一票に夢かけて

本の国與そうよ

公明選挙をなし遂げて

いことろの投票で

11月 5日から19日まで全国的に公 明選挙運動が推進されます。 本村公明選挙推進協議会で下記の 行事を実施いたします。何卒御脇 力のほどをおわがいします。

(江南村選管)

る政治も常に住民全体のすから何時何処で行われ ために行われるべきもの

る 立

とする手段方法でありま歩理想に近づけて行とう

づくり国づくりを一歩一

1.広報車による広報活動 2小中学児童生徒のポスター 習字作品の募集

3.広報特別号の発行

ち為政者が自分個人の名

て政治を担当する人達即 ならないものです。

替欲や利

ればそれとそ誤っ
利欲のために働い

指していいます。

<u>こ</u>う

なりました。 是非共

4.公明選挙推進協議会の開催

定人のために行われては であって一個人や一部特

5.部落話しあい学習の一 ·斉開催



ぼくんちじいちゃんいいました うなづいた うなづい ぼくんちみんなでいいきした うなづいた うなづいた うなづいた うなづいた 強く正しく使うんだ ばあちゃんそうよと こもった住みよい村になる との一票できどとろの ねえさんそうよと みんなでそうよと この一票はどこまでも (公明選挙全国連盟誌より)

明 選 挙

買収を絶たねば立たぬ良い政治買収にのびるその手は汚職の手 供応の酒一升に侮い一生 乗りません一票いくらの口車供応は暗い政治のおぜん立て動く金にも動かぬ一票 金よりも心で選べとの一票主権者の誇りを売るをとの一票 しあわせを育てる票です売りま くせん

九八七六五四三

明るく正 し しつ 政 を 望

定員以上の立候補数であ

時の選挙も例外なしにたいものです。選挙は

のです。選挙は

をもつとともに、

住民生活向上によって村る部面の改良発達を図りる、文化、交通等あらゆ ではないが政治は常に住時何処までが明るく正し政治か断定し得るものい政治をでが明るく正したした。 明るい政治と暗い政治、 むところを知りこれを指す。為政者は常に公平無非人道的行為だと云えま すことのできない極悪な治の常道からはずれた許行われた場合とれこそ政家の圧力によって政治が にこれらが壁以賄や権力 政治家は不正政治家とい た政治であると共にそ わなければならないの特 2 12

識人で学識経験に富み人以って指導し得られる常 に働くことのできる立派導し住民のために積極的 守り義理人情をわきせえ た人でなければなりませ の師表となれる人格者を 人に接するに常に温情を 派な人とは法律を た冗収饗応等の手段や顔底が腐った」とはこうしくが腐った」とはこうしまが腐った」とはこうしま行不可能なことが非常 はうまいととを云っても山あることに気付かなければならないことで口でればならないとで口ですがなけがなけがないましていない実例が沢がしも住民に正しい政治 り金銭をばらさいたりしちないことは御馳走したちないことは御馳走したで来るわけですがそとででいる。 衰理や人情にとらわれた

較することになりますが

甲候補者と乙候補者を比

ります。そこで選挙民は

のます。そこで選挙民は

のます。 を売って了う場合も起っ饗応によって大切な権利 た候補者が当選した後必 りひどいのになると冗収 るく正しい政治を望むとめ正しい選挙によって明挙げてとの運動を推し進 到る所で実施するととにが設けられたわけで全国として公明選挙強調週間

派な政治家を選出しよう正しい選挙にし公正な立

開され地方選挙を明るいに地方選挙(市町村長、長芸)の公明化運動が展展学)の大学を議員、県会議員では、東会議員でする。 うになったことをいうの 選挙に 14 大金がかかるよ

が圧力的に運動する 菊の香や奈良には古き 達 芭蕉

いるかどうかをたしかめら、こんなように、ぜひら、こんなように、ぜひら、 あなたの名前がのってが、 かっているかどうかをたしかめ 日現在で、 調運動と並んで九月十五の期間中は、公明選挙強 たくしたちも、 たちの生活をよりよくす 選挙権があっても投票で た基本選挙人名簿をお見日現在で、新しく作られ ありませんかったお、こ ことになっています。 おきをしょう。 こ、わたくし

生 活 ž 変 え る 選 挙

をみさしても、 おもとであって、 ました参議院議員の選挙 らてすっことし行なわれ くことのできないことが 主政治を育てるために欠 明るく正しく自由 民主政治を行うための われるということは、民 選挙はど承知のと 選 挙 あれだけ 人 名 とれに備えて、県や市 簿 めていますっととろで、 あり方を身につ 僱 認 æ

ぼくんちにいさんいいました

との一票をたいせつに

つかって平和な国づくり

りな

とうい

た

りなづいた

らに残念なことです。選 反があったことはほんとれながら、かず多くの違 をもつとともに、選挙のについてふだんから関心の生活に直接ひびく政治 めには、わたくしたち一挙が公明に行なわれるた 人一人が、わたくしたち 子公明選挙」ととなえら ***ロ・Kや民間放送の協進名とともに、国ではK 活動」をさらに強くおしなわれてきた「話しあい しているいろな計画を進村では、関係機関と協力 強調期間にあたります。 から十九日まで公明選挙ととしるまた十一月五日 選挙が行なわれますので、 力を求めて、 との期間中はいままで行 とくに米春は、統一地方 るととがもっともたいせ つなことといえましょうの てわかりやすく放送する ついての問題をとりあげ 、公明選挙に氏間放送の協

かったりするとせっかくとの名簿に名前がのらなもしも何かの手造いから さらに努力しようでは、選挙が行なわれるように、明るく正しい ることになりますので、あらゆる選挙に使われせする期間でもあります。 ての花もいまはすっかり 一大地といってもいい平安 一日本の秋は菊の香りの 日本の花となり、数十種

といってもいい平日本の秋は菊の香り

菊

秋の気配とともに、自然の姿が見られる。しかしの姿が見られる。しかしもっとも今日では栽培法 ゆかしさも、 ある。 に咲く菊でありてこそ、 盛り久しく咲いている。 菊の花は初霜の頃までも 百人一首の歌のように、 類がかぞえられる。 心あてに折らばや折ら ん初霜の おきまどわせる白菊 あるわけで

(総務課)

広 報 し ぉ

ず、菊と、山茶花 と萩一添えて咲きにおり花は宝深みゆく秋のふぜいに である。

花 り

ځ I 4 スキに似ているが、これえるもので、かたちはスをはもともと水辺には

りも大きく、

葉にノコ

なっ

しか

ø

1

酒の味は格段とうま

すからぜひ話しあいには

話 L あ しなけれ (1 学 깰 政治の中にあることを考ち住民の生活そのものがしているということ、即 ٢ L 明 選 举

世かやるだっていない。

が二〇〇万円と五〇万円と五〇万円

を受

型は、ことのその間凡ゆれて全国公明選挙推進連 を民間から強く要望が出さ 時ばならないとい ます。住民の生活を離れた政治はないと云っても として話しあい学習が取ら上げられて行われるよ として話しあい学習が取ら上げられて行われるようになりました。 しからり上げられて行われるようになりました。 会が設けられて公明選挙の対に至るまで推進協議で対に至るまで推進協議を挙げた結果府県から市 さすが政治と生活が直結やるかということになりい学習で公明選挙推進をにどのようにして話しあ ます。 云うまでもなく政を推進しようとして居り会が設けられて公明選挙 治と生活は直結して居り る手段方法が用 50 家の 病気にかかり医療代を支条件が生れるものです。 とに色々の案件とか希望文化向上を望むとき、そ えれば 業を興し交通を至 だろうか、みんな何か考 払っている人が幾人ある 払うとき何も考えずに支 ないのが常です。 殊に産 での事に全部満足してい 生活に希 あり全部

かり医療代を支

ന്താനാനാനാനാനാനാ §

きさす。水が少いとか水保証制度の問題が起って の問題に进っています。は台所改善から生活改善 している。しかし誰も何 裏の道路が悪いから近所 が悪いということ、 隣十軒もの人達が不便を

選挙を公明化して行くと ず出席するようにしま とに結びつくこととなる ょう。そしてこれが結局 ず出席するようにしまし近所隣をさそい合って必 ことを忘れずに自分も他 人も共にみがいて行きた

名である。 白楽天の「琵芭行」は有 た詩歌は多い きい。昔から萩をうたっ ギリ歯がなく花も白く大 が、なかに

南

江

ぜいをいいあらわして妙大河の水辺にある萩のふ であるo 枯々や波より 木の葉が色づいてくる・酒の功罪 別るるときだ々として せんと欲するに管紋な 船に乗り酒を挙げて飲 江は月を侵せりと、 修として別れんとす、 主人は馬より下り客は ば概葉敬花秋索々たり、 じん陽江頭夜客を送れ 酔うて歓を成さず れて、肥満の原因となっその分だけ体内に畜積さ 分だけ気をへらさないと のため、 て、野生的な行動だけが断力や理性がおさえられ 度をすどすと、 もっている。しかしその早く疲労をいやす効果を としては、アルコールの てくる。 であるっそうゆうことを 活躍するようになること 食品中もっとも 反対に罪のほう

よく承知して必ず家庭で むとか、帰宅に安全を スを考えたらえ 次第に判 けんかが始まったり、 なのだが」といっても、 「ふだんはおとなしい人飲み屋に寄ることである。 てしまってからでは、 払い運転で事故を起こ かえしが つかな

どがすぐ吸収される。 リツトル (一合) の酒は、効果がある。約〇、一八 適量の酒には相当 があり、 約二二〇カロリーの熱量 いじのです。 、吸収される。とそのうえほとん 一の栄養

▲寄生虫予防運動 昭和三十八年一月

യ യ യ യ യ യ യ യ യ ▲中小企業診断強調月間▲国民年金普及月間 日 日~七日 記念日、 予防週間、教育文
七日 火薬類危害 記念日、灯台記念日 狩猟解禁、台術隊 改正され

告と下さ からない人も)との日までに申はすべて(国税のかかる人) 整に音響(皆色白色)や雑 との日までに甲告されないと明 衛限は三月二〇日です。 んから個人事業を行っている方 損控除等の特典がうけられませ 昭和三十七年度個人事業院の甲

15

ん

Ŕ

Ø

VC

世

も

Ø

特

微

もそういうととを思っては他人から話されて自分 らを恥しくて話しにくい よって自分で気がつき悩 を発展させ生活向上がやものでみんなの力で産業 考えていることがはっき て色々の非難しているこ たように話しあいによっいたことに気付くといっ というようなことあるい んでいるととそしてそれ あいの会合を開くことに ろう位にしか思っていな って行けるととに りすることが非常に多い とが叶えられたり他人の 云いかえれば誰かね処へも話しるしてし ものですっそとで なりせ 産の価額の合計額のうちの年中に贈与を受けた財の年中に贈与を受けた財 た額との合計額以下であに法定相続人の数をかけ 万円× たとえば、相続人が配偶る場合は課税されません。 五〇 っても同 二〇万円をこえる部分に 広 対して課税されます。 しかし二〇万円以下で 一報こと 一の人から前 相

の廻り或いは部落の全部の人が身の程

部落の中

一便にし

われわれは日常の

望もあり不満も

一月になってしまいます れているうちに、すぐ十や脱敷などに追いさわさ から、かぜをひかないより増しに寒くなります う十分気を付けましょう? ▲よい本を読む運動 一家では、稲の刈り入れ十一月八日は立冬です 八日は立冬です 十一月末まで ----五日~ 日 日

文化の日の保護運動

分

十九日

公明選挙

昭和三十八年一月までム年末年始郵便貯金運動 十二月末きで 一月中 十三日 十日 八日 十九日~二十五日 十一日~十六日 日~十六日 精秤衛 十二月十日 賀はがき発 手足の不自 衛四子血 立冬 強調 週間 普及運動 七・五・三、 元開始 旧由なと 年 見

△共同募金運動

二十六日~十二月 十二日 勤労感 日 Ø 礼 \mathcal{O} 七

護強調週間 、文化 十日 働く年少者 文化財保 け

年

た גלל

なお受け取った財産の内 をお受け取った財産の内 をお受け取った財産の内 をお受け取った財産の内 をお受け取った財産の内 一曽 子 光 大きく受け取った財産の価額が税率は相続税も贈与税も けたことがある場合。 年につき一〇万円をとえ その贈与財産のうち、 る部分を累積して課税で 制度です。 れきすっ 贈 与 税 なるに は、 各

続 税

ع

F.

人事

業税

が

まし

75

全国火災予防運動

「千円」の文字

表紙の中央部にある「千円」の字の中を 見ますと、「ほんもの」には黒色の斜線が ありますが、「にせもの」にはそのほかに 黒色の横線があります。

模 様 唐草

表面の左下の部分にある唐草模様の一 「ほんもの」は線がつながつていますが「に せるの」は線が切れており、肉眼でもはつき りわかります。

ただし新しく発見されたKE券、SB券で はこのところが修正してあり、線が切れてお りません。

「聖徳太子」の文字

聖徳太子肖像の下にある「聖徳太子」の 文字のうち「徳」の字は、皿が口になって と、「太」の字は上に突き出た部分 く「太」となっています。

ただし新たに発見されたKE券、SB券 は、「太」の字が修正され正しい文字とな っています。